

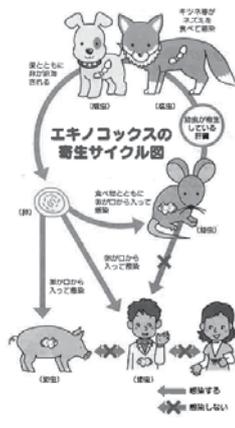
エキノコックス症予防

エキノコックスは寄生虫で、肝臓に寄生した幼虫が肝機能障害を起こし、放置すると転移したり命にかかわる病気となります。

◆ 前回検診から5年以上経った方
◆ 検診を一度も受けたことがない方
◆ 小学3年生
◆ 潜伏期間が数年から十数年あるの
で、最初の検診は8歳（小3）のとき
に、以後5年ごとに受診します。
検診の対象は

どのように感染するの？
人が感染するのは、キツネや犬のフンに含まれた卵の状態です。人・豚・野ねずみの体内で卵から幼虫になります。成虫にならないので卵は産まれません。これらの間では感染しません。ところが、幼虫が寄生した野ねずみを食べたキツネや犬の腸では成虫になり、卵が産まれます。そして卵はフンに含まれ、山菜や沢水の他、屋外などで触れる機会があると感染する、というわけです。

◆ 町民は左記の医療機関にて無料で受けられます。案内ハガキの届いた方（小3の方、5年前に受診した方など）は持参ください。ハガキのない方は保健福祉会館（北3東4）で受診券の発行を受けてください。



予防対策

- 帰ったら必ずよく手洗いを
- 山菜などはよく洗い十分熱を加えてから食べる
- キツネを近づけない、触らない、生ゴミ管理の徹底を
- 沢水などは飲まない
- 飼い犬が野ねずみを食べないように放し飼いにしない、口移しやスプーンの共用は×

俱知安厚生病院 北4東1 ☎ 22 - 1141	詳細は病院健康推進課まで
くとさん外科胃腸科 北4西3 ☎ 21 - 6410	月～土曜日（水・土曜日は午前のみ） 9時～11時30分 / 14時～16時30分
白樺会内科クリニック 北2西3 ☎ 22 - 1707	月・火・水曜日 9時～12時 / 15時～18時
ようてい小児科・アレルギー科 南3東4 ☎ 22 - 6633	火・木・金曜日 9時～11時30分 / 14時～17時
北海道対がん協会札幌がん 検診センター	詳細は町福祉医療課保健指導係まで

☎ 22 - 1144
町福祉医療課保健指導係

食中毒を防ぎましょう

これからの季節は、気温や湿度が上がるため食中毒が起りやすい時期です。食中毒は、食べ物や飲み物を原因として、嘔吐、腹痛、下痢などの症状を起こし、最悪の場合死に至ることもあります。夏場は、体の免疫力や抵抗力が低下するため、子どもやお年寄りでは症状が重くなる場合があります。通常であれば2～3日で症状がなくなりますが、激しい腹痛や下痢が続く、血便があるような場合は早目に受診をしましょう。

食中毒の種類と感染源	
細菌性	感染型 体内で細菌が増えて起こるもの サルモネラ、腸管出血性大腸菌（O157） （魚介類、食肉、鶏卵など）
	毒素型 細菌に汚染された食品を食べて起こるもの 黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌 （おにぎり、サンドウィッチなど）
ウイルス型	ウイルスに汚染された食品や、感染者の便や嘔吐物を介して起こるもの ノロウイルス（二枚貝など）、ロタウイルス

食中毒予防の3原則を守って、家庭での対策をしっかりと行いましょう。

○ その1 「つけない」
調理前後や、肉や魚などを触ったときは手を洗い、タオルやふきんも清潔な物を用意しましょう。野菜や果物は流水で洗い、まな板や包丁もこまめに洗うと共に、用途ごとに区別しておくとういでしょう。

○ その2 「増やさない」
肉や魚などの生鮮食品は最後に購入し、帰宅後すぐに冷蔵庫に入れ、残り物も冷蔵庫で保存をしましょう。冷蔵庫内の温度が上がらないよう、詰め込み過ぎには注意しましょう。

○ その3 「やっつける」
調理や残り物を温め直すときは、中心部までしっかりと加熱することが大切です。中心温度が75℃以上で1分以上加熱するのが目安になります。また、使用後のまな板やふきんなどは熱湯消毒をして、よく乾燥させておきましょう。

町福祉医療課地域包括支援センター
☎ 23 - 0100

俱知安の歴史を求めて 硫黄鉱山跡 くっちゃんワンダーキッズ

くっちゃんワンダーキッズは町教育委員会社会教育課が町内の小学5年生を対象に、学校とはひと味違う体験活動を通して、「知・徳・体」の成長、「豊かな心」「生きぬく力」の基盤を育むため、1年を通して様々な活動を展開する事業です。

7月9日(土)第3回のワンダーキッズでは、五色温泉の駐車場からイワオヌプリに登り、その後目的地である硫黄鉱山跡に立ち寄り、大沼から大谷地を目指す行程を歩きました。

出発前に「硫黄鉱山跡にあるれんがに彫つてある文字を確認してきて、教えてください」と宿題が出されておりました。硫黄鉱山跡に到着すると子どもたちは早速れんがを探し始めていました。「先生、あつたよ!」れんがを見つけた時には、大きな声で引率の職員を呼び「オワリ：タイKWA?」と彫つてある文字の解読に一生懸命取り組んでいました。

当日は風土館の学芸員も同行しており、資料として配られた当時の写真と現在の光景を見比べながら、この鉱山跡で硫黄の採掘



がおこなわれていたこと、人が住み、病院や学校が建ち、当時は俱知安市街地よりも、電気や薬などが充実していたことなどの話を聞き、周辺に残る、建物の柱の跡や石垣のようなものから、当時のその場所を想像していました。

またれんがに残された文字については、当時その場所ではマツチの原料であるリンが精製されており、資材として使われたれんがの製造メーカー「尾張耐火」の名称であるとの事でした。

今回の活動で子どもたちは、自分の足の場でその場所を訪れ、そこに人が住んでいたことの痕跡を、目で見て触れて感じることで、資料やインターネットを読むだけでは得ることのできない、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。くっちゃんワンダーキッズでは今後も羊蹄登山や、町外での体験活動などを予定しています。



子育て支援センターだより



★秋の親子遠足

動物さがしゲームを行った後、お弁当を食べます。

- 日時／9月7日(水) 10時～11時45分
- 集合場所／総合体育館裏(車は体育館またはくささんパークの駐車場を利用してください)
- 持ち物／お弁当、飲み物、おしぼり、敷物、ゴミ袋
- 雨天時／総合体育館(サブアリーナ) 集合
体操や子どもを箱に乗せて運ぶゲームなどを行います
- 申込／8月8日(月) 9時30分～

★第5回子育て講座(ヨガ)

- 日時／8月31日(水) 10時～11時30分
- 場所／保健福祉会館
- 持ち物／汗拭きタオル、飲み物(2人分) ヨガマット(バスタオル)
- 申込／8月1日(月) 9時30分～
- その他／動きやすい服装で参加してください

子育て支援センター(南2東1) ☎ 22-0419
開館時間 9時30分～17時(4月～10月)
(正午～13時は玩具などの消毒のため一時閉館)
休館日 日曜日、祝日、年末年始

就業体験をしました～俱知安農業高校～

今年度俱知安農業高校では、2・3年生を対象にしたインターンシップ(就業体験)を実施しました。7月上旬、生徒たちは5日間にわたりそれぞれの関心や進路にかかわる事業所で、働くことを体験をしました。

小川原脩記念美術館で就業体験をした萩原敦也さんは、「絵を描くことが好きなので、作品を展示している施設で働くことに興味がありました」と話します。この5日間の中で、イベントのための資料づくりや記録用写真撮影の業務を任せられ、模写の授業で美術館を訪れた中学生には、アドバイスをするなど積極的にコミュニケーションをとっていました。



△中学生に模写のアドバイスを
する萩原敦也さん(左)

「展示物の傷や汚れを毎日欠かさず確認することや、資料づくりは大変でしたが、来館者とコミュニケーションをとるのが楽しかったです」と話してくれました。